

東海連合支部 三重支部主催 テクテク会（見学会）を開催

今夏猛暑日37日間を記録した三重県下は朝晩すっかり過ごし易くなってきた9月26日（金）に「三重県林業研究所見学会」をハイブリッドで開催した。

日本の国土の3分の2は森林面積である。三重県の森林率も約64%になるが、近年環境破壊や森林保全の人材不足や高齢化、獣害による森林被害など大きな課題を抱える中、日頃地道な活動を実施している三重県林業研究所の見学会を企画した。

同施設は県の農林水産部に所属し、森林保全の高い専門的技術や、林業人材の育成に力を入れ、また森林資源を活用する起業家養成など幅広い森林・林業への人材育成を目的とした「森林・林業アカデミー」を設立し、また特産化を目指した「きのこ栽培」の技術開発にも取り組んでいる。それら施設の活動状況を所員から紹介の後、アカデミー棟やきのこ栽培試験棟を見学。

今回の参加者は現地4名とオンラインでは、工業会小松原理事長や東京連合支部化学材料支部長、さいたま連合支部長、四国支部長はじめ9名の方の参加をいただき、約2時間半の見学会を終了した。
(三重支部 窪田 健一 46W)



「三重県林業研究所」全景



「林業研究所」活動の紹介風景



見学会現地参加者(後列左から)
倉林弘行(平塚支部長),小暮邦彦(H18M),
阿部桂三(46S 修),窪田健一(46W)
(前列は林業研究所々員の方々)
中央;福島康広所長

【オンライン参加者名】

小松原健夫, 渡辺沙織(工業会), 松山春男(東京連合支部化学材料支部), 森口敏生,
中村洋祐(四国支部), 小西憲二(埼玉連合支部), 金井勇(佐野支部), 二宗光文,
阿部雅信(東海連合支部) 敬称略